





令和6年度

三徳山観音院駐車場公衆便所屋根改修工事

Number	図面名	SCALE	Number	図面名	SCALE
A -1 /9	特記仕様書(1)	---	A -6 /9	立面図	1 /1 0 0
A -2 /9	特記仕様書(2)	---	A -7 /9	天井伏図 小屋伏図	1 /1 0 0
A -3 /9	特記仕様書(3)	---	A -8 /9	断面詳細図 部分詳細図(1)	1 /5 0 1 /1 0
A -4 /9	付近見取図 配置図 工事概要	1 /4 0 0	A -9 /9	部分詳細図(2)	1 /1 0
A -5 /9	平面図 屋根伏図	1 /1 0 0			



工事名称 三徳山観音院駐車場公衆便所屋根改修工事	図面名称	図面リスト	SCALE	NUMBER	<div><p>一般社団法人 鳥取県建築士事務所協会 会員 (有) 安達建築設計事務所 鳥取県米子市道笑町2丁目172 TEL (0859) 33-7808</p></div>	吉田 成年 一級建築士大臣登録 第209688号 建築士事務所知事登録 第06-225号	検図 	設計 	製図 
	日付	R6.11	---	00					

木造建築工事特記仕様書						
Ⅰ 工事概要						
1. 工事場所		東伯郡三朝町三徳				
2. 敷地面積		---				
3. 地域・地区		1 都市計画区域（・内（・市街化区域・市街化調整区域・非線引き区域）○外） 2 用途地域等（-----） 3 防火地域等（・防火地域・準防火地域○指定なし）				
4. 工事概要						
1. 建物						
番号	名 称	工事種別	構 造	階数	建築面積（㎡）	延べ面積（㎡）
1	三徳山観音院駐車場 公衆便所	改修	木造	1階	30.40㎡	22.08㎡
2. 工作物						

3. 外構						

4. 造園						

Ⅱ 建築工事仕様						
1. 共通仕様						
(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「木造建築 工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「木造標仕」という。)による。また、木造標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「標仕」という。)による。						
(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。						
(3) 受注者は完了検査(中間検査を含む。)の検査には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料等(報告書等)を用意すること。						
2. 特記仕様						
(1) 項目は、○印の付いたものを適用する。						
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。						
(3) 特記事項に記載の()内表示番号は、木造標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。						
(4) 特記事項に記載の【 】は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。						
(5) ☑印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(以下「グリーン購入法」という。)の特定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」(環境省のホームページからダウンロード可能)による。						
(6) 木造標仕、標仕で「特記がなければ」以降に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改定により(条例を含む)抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.13)の規定を優先する。						

工事名称 三徳山観音院駐車場公衆便所屋根改修工事	図面名称 特記仕様書(1)
	日付 R6.11

- ① 適用基準等
- ② 届出手続等
 - ・ 電気保安技術者
 - ・ 工事安全計画書
 - ・ 発生材等の処理等
 - ・ 環境への配慮

<div>① 一般共通事項</div> <div>・ 環境への配慮</div>	<div>4) 1) の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。</div> <div>ホルムアルデヒド放散量 規制対象外</div> <div>① 建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料</div> <div>② 建築基準法施行令第20条の第7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</div> <div>ホルムアルデヒド放散量 第三種</div> <div>① 建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料</div> <div>② 建築基準法施行令第20条の第7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</div> <div>国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく環境物品等</div> <div>の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項に留意すること。</div>																														
<div>② 材料の品質等</div> <div>・ 特別な材料の工法</div>	<div>材料・機材等の品質及び性能 (1.4.2)</div> <div>1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする</div> <div>2) 本工事に使用する材料のうち、3) に指定する材料の製造業者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し）を監督職員に提出して承諾を受けものとする。 ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない</div> <div>(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること</div> <div>(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること</div> <div>(3) 安定的な供給が可能であること</div> <div>(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること</div> <div>(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること</div> <div>(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること</div> <div>3) 製造業者等に関する資料の提出が必要な材料</div> <table border="1"> <tr> <td>床型枠用鋼製デッキプレート</td><td>現場発泡断熱材</td></tr> <tr> <td>鉄骨柱下無収縮モルタル</td><td>フリーアクセスフロア</td></tr> <tr> <td>無収縮グラウト材</td><td>可動間仕切</td></tr> <tr> <td>乾式保護材</td><td>移動間仕切</td></tr> <tr> <td>既調合モルタル</td><td>トイレブース</td></tr> <tr> <td>ルーフトレイン</td><td>煙突用成形ライニング材</td></tr> <tr> <td>吸水調整材</td><td>天井点検口</td></tr> <tr> <td>錠前類</td><td>床点検口</td></tr> <tr> <td>クローザ類</td><td>グレーチング</td></tr> <tr> <td>自動扉機構</td><td>屋上緑化システム</td></tr> <tr> <td>自閉式上吊り引戸機構</td><td>トップライト</td></tr> <tr> <td>重量シャッター</td><td>ポリマーセメントモルタル</td></tr> <tr> <td>軽量シャッター</td><td>既調合目地材</td></tr> <tr> <td>オーバーヘッドドア</td><td>鑄鉄製ふた</td></tr> <tr> <td>防水材</td><td></td></tr> </table>	床型枠用鋼製デッキプレート	現場発泡断熱材	鉄骨柱下無収縮モルタル	フリーアクセスフロア	無収縮グラウト材	可動間仕切	乾式保護材	移動間仕切	既調合モルタル	トイレブース	ルーフトレイン	煙突用成形ライニング材	吸水調整材	天井点検口	錠前類	床点検口	クローザ類	グレーチング	自動扉機構	屋上緑化システム	自閉式上吊り引戸機構	トップライト	重量シャッター	ポリマーセメントモルタル	軽量シャッター	既調合目地材	オーバーヘッドドア	鑄鉄製ふた	防水材	
床型枠用鋼製デッキプレート	現場発泡断熱材																														
鉄骨柱下無収縮モルタル	フリーアクセスフロア																														
無収縮グラウト材	可動間仕切																														
乾式保護材	移動間仕切																														
既調合モルタル	トイレブース																														
ルーフトレイン	煙突用成形ライニング材																														
吸水調整材	天井点検口																														
錠前類	床点検口																														
クローザ類	グレーチング																														
自動扉機構	屋上緑化システム																														
自閉式上吊り引戸機構	トップライト																														
重量シャッター	ポリマーセメントモルタル																														
軽量シャッター	既調合目地材																														
オーバーヘッドドア	鑄鉄製ふた																														
防水材																															
<div>③ 技能士</div>	<div>標準仕様書に記載されていない特別な工法については、材料製造所の指定する工法とする。</div> <div>(1.5.2)</div> <div>下表により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をすると共に、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと</div> <div>(技能士：職業能力開発促進法による一級技能士又は単一等級の資格を有する者)</div> <div>また、その技能士はその者が技能士であることがわかる名札を常時着用すること</div>																														

 一般社団法人 鳥取県建築士事務所協会会員 (有) 安達建築設計事務所 adachi-archi. 鳥取県米子市道笑町2丁目172	吉田 成年 TEL(0859)33-7808	一級建築士大臣登録 第209688号 建築士事務所知事登録 第06-225号	検図	設計	製図
					

1

一般共通事項

技能士

工事種目

技能検定職種

技能検定作業

仮設工事

とび

とび作業

鉄筋工事

鉄筋施工

鉄筋組立作業

コンクリート工事

型枠施工

型枠工事作業

コンクリート圧送施工

コンクリート圧送工事作業

鉄骨工事

鉄工

構造物鉄工作業

とび

とび作業

塗装

建築塗装作業

コンクリートブロック・エーエーパ

ブロック建築

コンクリートブロック工事作業

組・押出成型モルタル板工事

エーエーパ組施工

エーエーパ組工事作業

防水工事

防水施工

アスファルト防水工事作業

ウレタン系塗膜防水工事作業

アクリル系塗膜防水工事作業

合成ゴム系シート防水工事作業

塩化ビニルシート防水工事作業

モルタル系防水工事作業

シーリング防水工事作業

改質アスファルトシート防水工事作業

FRP防水工事作業

石工事

石材施工

石張り作業

タイル工事

タイル張り

タイル張り作業

木工事

建築大工

大工工事作業

屋根及びとい工事

建築板金

内外装板金作業

スレート施工

スレート工事作業

金属工事

内装仕上施工

鋼製下地工事作業

建築板金

内外装板金作業

左官工事

左官

左官作業

建具工事

サッシ施工

ビル用サッシ施工作業

木造用サッシ施工作業

ガラス施工

ガラス工事作業

ガラス用フィルム施工

建築フィルム作業

木製建具施工

木製建具加工作業

自動ドア施工

自動ドア施工作業

カーテンウォール工事

カーテンウォール施工

金属製カーテンウォール施工作業

塗装工事

塗装

建築塗装作業

内装工事

内装仕上施工

プラスチック系床仕上工事作業

ボード仕上工事作業

カーペット系床仕上工事作業

(2級及びプラスチック系床仕上工事作業を含む)

表装

壁装作業

排水工事

配管

建築配管作業

舗装工事

路面表示施工

溶解ヘントマカー工事作業

加熱ヘントマカー工事作業

植栽工事

造園

造園工事作業

畳工事

畳

畳製作作業

《技能士名札参考図》

技能士

職種

建築大工

級別

1級

氏名

山田

血液型

O型

勤務先

〇〇工務店

自宅

鳥取市

発行

〇〇〇〇〇〇〇〇会

技能士の職種により色を変えることも可

技能士の種別

技能士の級の別

技能士本人の住所

名札の発行元

見本施工の実施

行なう

見本施工を行なう製品

1.5.5

1.5.9

1)測定対象室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する。

パラジクロロベンゼンを追加して分析を行う

測定対象室

2)バッシン型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。

①30分間換気

測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む）を開放し、30分間換気する

1

一般共通事項

化学物質の濃度測定

②5時間閉鎖

①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。

③測定

イ②の状態のままで測定する。

ロ測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。

ハ測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。

④分析

測定対象化学物質を採取したバッシン型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。

⑤その他

監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受ける。

下記のことを監督職員に提出する

区分	分類・規格	撮影箇所	部数	備考
工事記録写真	カラー写真	各工種の工程毎	2部	
完成写真	カラー写真	内部1箇所	2部	
		外部4箇所	2部	
	カラー写真	内部箇所	部	
		外部箇所	部	
パネル	カラー	四つ切箇所	2部	
		半切箇所		
		全紙箇所		

電子データ又はネガの提出[工事記録写真]

要

不要

電子データ又はネガの提出[完成写真]

要

不要

完成時の提出図書

下記のことを監督職員に提出する

(1.7.1～2)

原因A1版又はA2版（設計図の第2原図訂正不可）

1部

CADデータ

1式

原因の2つ折製本

2部

※原因の縮小版の2つ折製本（A4版）

2部

複写縮小版A3バラ焼

部

完成図の種類及び内容

案内図・配置図・面積表

配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む（BMの表示）

平面図

室名、耐震壁（防火壁）、避難施設等を表示する

立面図

外壁仕上等を表示する

断面図

階高、天井高等を表示する

仕上表

屋外、屋内（各階）の仕上表を表示する

構造図

杭、構造躯体等を表示する

その他

原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付けること

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする

設備工事との取り扱い	建築	電気設備	機械設備
コンクリート壁、床等貫通部	補強	※	・
スリーブ・箱入れ	・	※	※
埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠	・	※
埋込形機器取付用の天井、壁の切込加工、下地の補強	補強	※	・
天井点検口	・	※	・
機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	・	※

※図示

・

建築基準法に基づき定められた区分等

基準風速

Vo=

m/s

地表面粗度区分

Ⅰ

Ⅱ

Ⅲ

Ⅳ

積雪区分

建設省告示第1455号

別表

設計GL

耐荷重及び耐外力

1

一般共通事項

化学物質の濃度測定

②5時間閉鎖

①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。

③測定

イ②の状態のままで測定する。

ロ測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。

ハ測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。

④分析

測定対象化学物質を採取したバッシン型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。

⑤その他

監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受ける。

下記のことを監督職員に提出する

(1.7.1～2)

原因A1版又はA2版（設計図の第2原図訂正不可）

1部

CADデータ

1式

原因の2つ折製本

2部

※原因の縮小版の2つ折製本（A4版）

2部

複写縮小版A3バラ焼

部

完成時の提出図書

下記のことを監督職員に提出する

(1.7.1～2)

原因A1版又はA2版（設計図の第2原図訂正不可）

1部

CADデータ

1式

原因の2つ折製本

2部

※原因の縮小版の2つ折製本（A4版）

2部

複写縮小版A3バラ焼

部

完成図の種類及び内容

案内図・配置図・面積表

配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む（BMの表示）

平面図

室名、耐震壁（防火壁）、避難施設等を表示する

立面図

外壁仕上等を表示する

断面図

階高、天井高等を表示する

仕上表

屋外、屋内（各階）の仕上表を表示する

構造図

杭、構造躯体等を表示する

その他

原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付けること

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする

設備工事との取り扱い	建築	電気設備	機械設備
コンクリート壁、床等貫通部	補強	※	・
スリーブ・箱入れ	・	※	※
埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠	・	※
埋込形機器取付用の天井、壁の切込加工、下地の補強	補強	※	・
天井点検口	・	※	・
機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	・	※

※図示

・

建築基準法に基づき定められた区分等

基準風速

Vo=

m/s

地表面粗度区分

Ⅰ

Ⅱ

Ⅲ

Ⅳ

積雪区分

建設省告示第1455号

別表

設計GL

耐荷重及び耐外力

1

一般共通事項

化学物質の濃度測定

②5時間閉鎖

①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。

③測定

イ②の状態のままで測定する。

ロ測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。

ハ測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。

④分析

測定対象化学物質を採取したバッシン型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。

⑤その他

監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受ける。

下記のことを監督職員に提出する

(1.7.1～2)

原因A1版又はA2版（設計図の第2原図訂正不可）

1部

CADデータ

1式

原因の2つ折製本

2部

※原因の縮小版の2つ折製本（A4版）

2部

複写縮小版A3バラ焼

部

完成時の提出図書

下記のことを監督職員に提出する

(1.7.1～2)

原因A1版又はA2版（設計図の第2原図訂正不可）

1部

CADデータ

1式

原因の2つ折製本

2部

※原因の縮小版の2つ折製本（A4版）

2部

複写縮小版A3バラ焼

部

完成図の種類及び内容

案内図・配置図・面積表

配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む（BMの表示）

平面図

室名、耐震壁（防火壁）、避難施設等を表示する

立面図

外壁仕上等を表示する

断面図

階高、天井高等を表示する

仕上表

屋外、屋内（各階）の仕上表を表示する

構造図

杭、構造躯体等を表示する

その他

原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付けること

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする

設備工事との取り扱い	建築	電気設備	機械設備
コンクリート壁、床等貫通部	補強	※	・
スリーブ・箱入れ	・	※	※
埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠	・	※
埋込形機器取付用の天井、壁の切込加工、下地の補強	補強	※	・
天井点検口	・	※	・
機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	・	※

※図示

・

建築基準法に基づき定められた区分等

基準風速

Vo=

m/s

地表面粗度区分

Ⅰ

Ⅱ

Ⅲ

Ⅳ

積雪区分

建設省告示第1455号

別表

設計GL

耐荷重及び耐外力

1

一般共通事項

化学物質の濃度測定

②5時間閉鎖

①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。

③測定

イ②の状態のままで測定する。

ロ測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。

ハ測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。

④分析

測定対象化学物質を採取したバッシン型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。

⑤その他

監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受ける。

下記のことを監督職員に提出する

(1.7.1～2)

原因A1版又はA2版（設計図の第2原図訂正不可）

1部

CADデータ

1式

原因の2つ折製本

2部

※原因の縮小版の2つ折製本（A4版）

2部

複写縮小版A3バラ焼

部

完成時の提出図書

下記のことを監督職員に提出する

(1.7.1～2)

原因A1版又はA2版（設計図の第2原図訂正不可）

1部

CADデータ

1式

原因の2つ折製本

2部

※原因の縮小版の2つ折製本（A4版）

2部

複写縮小版A3バラ焼

部

完成図の種類及び内容

案内図・配置図・面積表

配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む（BMの表示）

平面図

室名、耐震壁（防火壁）、避難施設等を表示する

立面図

外壁仕上等を表示する

断面図

階高、天井高等を表示する

仕上表

屋外、屋内（各階）の仕上表を表示する

構造図

杭、構造躯体等を表示する

その他

原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付けること

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする

設備工事との取り扱い	建築	電気設備	機械設備
コンクリート壁、床等貫通部	補強	※	・
スリーブ・箱入れ	・	※	※
埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠	・	※
埋込形機器取付用の天井、壁の切込加工、下地の補強	補強	※	・
天井点検口	・	※	・
機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	・	※

※図示

・

建築基準法に基づき定められた区分等

基準風速

Vo=

m/s

地表面粗度区分

Ⅰ

Ⅱ

Ⅲ

Ⅳ

積雪区分

建設省告示第1455号

別表

設計GL

耐荷重及び耐外力

1

一般共通事項

化学物質の濃度測定

②5時間閉鎖

①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。

③測定

イ②の状態のままで測定する。

ロ測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。

ハ測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。

④分析

測定対象化学物質を採取したバッシン型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。

⑤その他

監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受ける。

下記のことを監督職員に提出する

(1.7.1～2)

原因A1版又はA2版（設計図の第2原図訂正不可）

1部

CADデータ

1式

原因の2つ折製本

2部

※原因の縮小版の2つ折製本（A4版）

2部

複写縮小版A3バラ焼

部

完成時の提出図書

下記のことを監督職員に提出する

(1.7.1～2)

原因A1版又はA2版（設計図の第2原図訂正不可）

1部

CADデータ

1式

原因の2つ折製本

2部

※原因の縮小版の2つ折製本（A4版）

2部

複写縮小版A3バラ焼

部

完成図の種類及び内容

案内図・配置図・面積表

配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む（BMの表示）

平面図

室名、耐震壁（防火壁）、避難施設等を表示する

立面図

外壁仕上等を表示する

断面図

階高、天井高等を表示する

仕上表

屋外、屋内（各階）の仕上表を表示する

構造図

杭、構造躯体等を表示する

その他

原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付けること

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする

設備工事との取り扱い	建築	電気設備	機械設備
コンクリート壁、床等貫通部	補強	※	・
スリーブ・箱入れ	・	※	※
埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠	・	※
埋込形機器取付用の天井、壁の切込加工、下地の補強	補強	※	・
天井点検口	・	※	・
機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	・	※

※図示

・

建築基準法に基づき定められた区分等

基準風速

Vo=

m/s

地表面粗度区分

Ⅰ

Ⅱ

Ⅲ

Ⅳ

積雪区分

建設省告示第1455号

別表

設計GL

耐荷重及び耐外力

1

一般共通事項

化学物質の濃度測定

②5時間閉鎖

①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。

③測定

イ②の状態のままで測定する。

ロ測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。

ハ測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。

④分析

測定対象化学物質を採取したバッシン型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。

⑤その他

監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受ける。

下記のことを監督職員に提出する

(1.7.1～2)

原因A1版又はA2版（設計図の第2原図訂正不可）

1部

CADデータ

1式

原因の2つ折製本

2部

※原因の縮小版の2つ折製本（A4版）

2部

複写縮小版A3バラ焼

部

完成時の提出図書

下記のことを監督職員に提出する

(1.7.1～2)

原因A1版又はA2版（設計図の第2原図訂正不可）

1部

CADデータ

1式

原因の2つ折製本

2部

※原因の縮小版の2つ折製本（A4版）

2部

複写縮小版A3バラ焼

部

完成図の種類及び内容

案内図・配置図・面積表

配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む（BMの表示）

平面図

室名、耐震壁（防火壁）、避難施設等を表示する

立面図

外壁仕上等を表示する

断面図

階高、天井高等を表示する

仕上表

屋外、屋内（各階）の仕上表を表示する

構造図

杭、構造躯体等を表示する

その他

原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付けること

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする

設備工事との取り扱い	建築	電気設備	機械設備
コンクリート壁、床等貫通部	補強	※	・
スリーブ・箱入れ	・	※	※
埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠	・	※
埋込形機器取付用の天井、壁の切込加工、下地の補強	補強	※	・
天井点検口	・	※	・
機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	・	※

※図示

・

建築基準法に基づき定められた区分等

基準風速

Vo=

m/s

地表面粗度区分

Ⅰ

Ⅱ

Ⅲ

Ⅳ

積雪区分

建設省告示第1455号

別表

設計GL

耐荷重及び耐外力

1

一般共通事項

化学物質の濃度測定

②5時間閉鎖

①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。

③測定

イ②の状態のままで測定する。

ロ測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。

ハ測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。

④分析

測定対象化学物質を採取したバッシン型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。

⑤その他

監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受ける。

下記のことを監督職員に提出する

(1.7.1～2)

原因A1版又はA2版（設計図の第2原図訂正不可）

1部

CADデータ

1式

原因の2つ折製本

2部

※原因の縮小版の2つ折製本（A4版）

2部

複写縮小版A3バラ焼

部

完成時の提出図書

下記のことを監督職員に提出する

(1.7.1～2)

原因A1版又はA2版（設計図の第2原図訂正不可）

1部

CADデータ

1式

原因の2つ折製本

2部

※原因の縮小版の2つ折製本（A4版）

2部

複写縮小版A3バラ焼

部

完成図の種類及び内容

案内図・配置図・面積表

配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む（BMの表示）

平面図

室名、耐震壁（防火壁）、避難施設等を表示する

立面図

外壁仕上等を表示する

断面図

階高、天井高等を表示する

仕上表

屋外、屋内（各階）の仕上表を表示する

構造図

杭、構造躯体等を表示する

その他

原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付けること

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする

設備工事との取り扱い	建築	電気設備	機械設備
コンクリート壁、床等貫通部	補強	※	・
スリーブ・箱入れ	・	※	※
埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠	・	※
埋込形機器取付用の天井、壁の切込加工、下地の補強	補強	※	・
天井点検口	・	※	・
機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	・	※

※図示

・

建築基準法に基づき定められた区分等

基準風速

Vo=

m/s

地表面粗度区分

Ⅰ

Ⅱ

Ⅲ

Ⅳ

積雪区分

建設省告示第1455号

別表

設計GL

耐荷重及び耐外力

1

一般共通事項

化学物質の濃度測定

②5時間閉鎖

①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。

③測定

イ②の状態のままで測定する。

ロ測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。

ハ測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。

④分析

測定対象化学物質を採取したバッシン型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。

⑤その他

監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受ける。

下記のことを監督職員に提出する

(1.7.1～2)

原因A1版又はA2版（設計図の第2原図訂正不可）

1部

CADデータ

1式

原因の2つ折製本

2部

※原因の縮小版の2つ折製本（A4版）

2部

複写縮小版A3バラ焼

部

完成時の提出図書

下記のことを監督職員に提出する

(1.7.1～2)

原因A1版又はA2版（設計図の第2原図訂正不可）

1部

CADデータ

1式

原因の2つ折製本

2部

※原因の縮小版の2つ折製本（A4版）

2部

複写縮小版A3バラ焼

部

完成図の種類及び内容

案内図・配置図・面積表

配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む（BMの表示）

平面図

室名、耐震壁（防火壁）、避難施設等を表示する

立面図

外壁仕上等を表示する

断面図

階高、天井高等を表示する

仕上表

屋外、屋内（各階）の仕上表を表示する

構造図

杭、構造躯体等を表示する

その他

原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付けること

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする

設備工事との取り扱い	建築	電気設備	機械設備
コンクリート壁、床等貫通部	補強	※	・
スリーブ・箱入れ	・	※	※
埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠	・	※
埋込形機器取付用の天井、壁の切込加工、下地の補強	補強	※	・
天井点検口	・	※	・
機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	・	※

※図示

・

建築基準法に基づき定められた区分等

基準風速

Vo=

m/s

地表面粗度区分

Ⅰ

Ⅱ

Ⅲ

Ⅳ

積雪区分

建設省告示第1455号

別表

設計GL

耐荷重及び耐外力

1

一般共通事項

化学物質の濃度測定

②5時間閉鎖

①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。

③測定

イ②の状態のままで測定する。

ロ測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。

ハ測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。

④分析

測定対象化学物質を採取したバッシン型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。

⑤その他

監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受ける。

</

②木造工事

①木材

製材(5.2.2)(6.2.2)
・目視等級区分構造用製材、機械等級区分構造用製材、広葉樹製材、
枠組壁工法構造用製材

部 位	品 名	樹 種	構造材の種類	等級	含水率	その他
柱	構造用製材	スギ	乙	2 級	SD20又はD20	
垂木、筋かい	構造用製材	スギ	甲Ⅰ		SD20又はD20	
梁、火打	構造用製材	スギ	甲Ⅱ		SD20又はD20	
土台	構造用製材	ヒノキ			SD20又はD20	

・記入無き梁桁、母屋、垂木等の曲げ材のうち、見えがかり材の等級は甲種構造材 2 級、見え隠れ部分の等級は甲種構造材 3 級とする。その他、乙種構造材は 2 級とする。

・主要構造部には機械等級区分構造用製材の適用
・適用する
・適用しない

・材の曲がりについては、上記に関わらず目視等級 1 級相当とする。

・無等級材
寸法、樹種、含水率及び材面の品質 ※ 図示による
縦振動ヤング係数測定の対象部材 ※ 図示による

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材
含水率 ※ 図示による

・下地用製材
樹種、等級、寸法及び含水率 ※ 図示による

③木造工事

①表面仕上げ

見え掛り面の表面の仕上げ(10.1.3)
機械加工
・ A 種 ※ B 種
・ C 種
・ D 種 (表10.1.1)

①木材の含水率

① A 種
・ B 種 (10.2.1)
内装及び外装の木下地、木造作及び木仕上げの材料

①木材

木材のうち、桧、杉及び松は、「鳥取県産材産地証明制度」の認証を受けたものを使用すること。

製材(10.2.2)
・下地用針葉樹製材、造作用針葉樹製材、広葉樹製材

部 位	品 名	樹 種	等級	形状	含水率	その他
	針葉樹製材	スギ	2 級	押角	SD20又はD20	

①合板等

合板等(10.2.3)

種 類	厚 さ (mm) ・ 規格等	施工箇所 (構造材 ・ 仕上げ材の別)
普通合板 [G]	厚さ (mm) ・ 5.5 ・ 9 ① 12 ・ 15 接着の程度 ・ 1 類 ・ 2 類 表板の種類 ・ 広葉樹 ・ 針葉樹 表面性能 板面の品質 ※ C-D ・ 難燃処理 ・ する ・ しない 防虫処理 ・ する ・ しない ・生地透明塗料塗り (ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り (しな合板程度)	
天然木化粧合板 [G]	厚さ (mm) ・ 接着の程度 ・ 特類 ・ 1 類 単板の樹種 ・ 防虫処理 ・ する ・ しない 難燃処理 ・ する ・ しない 防炎処理 ・ する ・ しない	
特殊加工化粧合板	厚さ (mm) ・ 接着の程度 ・ 特類 ・ 1 類 表面性能 化粧加工の方法 ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装	
天然木化粧複合フローリング [G]	厚さ ・ 15 ・ 樹種 ※ なら ・ ひのき 工法 ※ 釘どめ工法 (C種) 仕上げ塗装等 ※ 塗装品 ・ 無塗装品 間伐材等の適用 ・ あり	
単層フローリング [G]	厚さ ・ 15 ・ 樹種 ※ なら ・ ひのき 工法 ※ 釘どめ工法 (C種) 仕上げ塗装等 ※ 塗装品 ・ 無塗装品 間伐材等の適用 ・ あり	

③木工事

③耐候性処理(10.3.1)
屋外に使用する仕上げ木材への木材保護塗料塗り 適用範囲： (図示による)

③防腐・防蟻処理 [G](9.3.2)
薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用範囲： (図示による)
保存処理性能区分
・ K 2
・ K 3
・ K 4

④下地及び下葦(14.2.2)
野地板 材質、厚さ ※ 「木造標仕」 5.7.9 による
下葦材料 ※改質アスファルトルーフィング(14.2.2)
(①一般タイプ ・ 複層基材タイプ ・ 粘着層付タイプ)

①金属板葺(14.3.2) (表14.3.1)

施工箇所	長 尺 金 属 板 の 種 類	厚さ (mm)	屋根葺形式
① 図示	※ 塗装溶融 55% アルミニウム-亜鉛合金 めっき鋼板及び鋼帯 (CGLCCR-20-AZ150) ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGCCR-20-Z25)	② 0.4 ・ 0.35	・ 立平葺 ・ あり掛葺 ・ 芯木なし 瓦棒葺 ① 横葺
・	・	・	・

固定釘の材質 ※ 表13.3.2による(表13.3.2)
心木の防腐・防蟻処理 ※ 行う
・ 行わない
吊子、釘の留付け間隔 ※ 図示

工法(13.3.4) (13.3.5) (13.3.6) (13.3.7) (13.3.8)
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
・ 適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (※1
・ 1.15
・ 1.3)
倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・ 適用しない
雪止め ・ 設置する (図示)

⑤塗装工事

①素地ごしらえ【18.2.2～7】

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・ B種
	透明塗りの場合	※B種 ・ A種
鉄鋼面		※C種 ・ A種 ・ B種
亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		※B種 ・ A種
コンクリート面、ALC 板 外面及び押出成形セメント板面 (DP塗装除く)		※B種 ・ A種
石膏ボード 面及びその他	目地：継目処理工法	※A種 ・ B種
ボード面	目地：継目処理工法以外	※B種 ・ A種

①塗料

塗装	種別	塗料の種類	高日射反射率 塗料の適用 [G]
・合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※A種 ・ B種	※1種 ・ 2種 —
	木部屋内	※B種 ・ A種	※1種 ・ 2種 —
	鉄鋼面	※B種 ・ A種	※1種 ・ 2種 ・
	亜鉛めっき鋼面	—	※1種 ・ 2種 ・
・クリヤッカー塗り (CL)		※B種 ・ A種	— —
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)		※B種 ・ A種	— —
・耐候性 塗料塗り (DP)	鉄鋼面	—	上塗り等級 () 級
	亜鉛めっき鋼面	—	上塗り等級 () 級
	コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・ A種 ・ B種 ・ C種	上塗り等級 1 級 上塗り等級 2 級 上塗り等級 3 級
	・つや有合成樹脂 エマルジョンペイント 塗り (EP-G)	コンクリート面、モルタル面 石膏プラスター面 石膏ボード 面 その他ボード 面等	※B種 ・ A種 — —
		屋内の鉄鋼面	※B種 ・ A種 — —
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		※B種 ・ A種	— —
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)		※B種 ・ A種	— —
・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		※B種 ・ A種	— —

⑤塗装工事

①ステイン塗り

・ヒグメントステイン
塗り
・オイルステイン塗り (OS)

①木材保護塗料塗り (WP)

※B種 ・ A種
—
—

高日射反射率塗装 [G] を適用する場合の適用箇所は、屋上・屋根面の金属面とする。

②三徳山観音院駐車場公衆便所屋根改修工事

③図面名称

特記仕様書 (3)

③SCALE

③NUMBER

A-3/9

③一般社団法人 鳥取県建築士事務所協会 会員

③(有) 安達建築設計事務所

③吉田 成年

③一級建築士大臣登録

③第 209688 号

③鳥取県米子市道笑町 2 丁目 1 7 2

③TEL (0859) 33-7808

③建築士事務所知事登録

③第 06-225 号

③検図

③設計

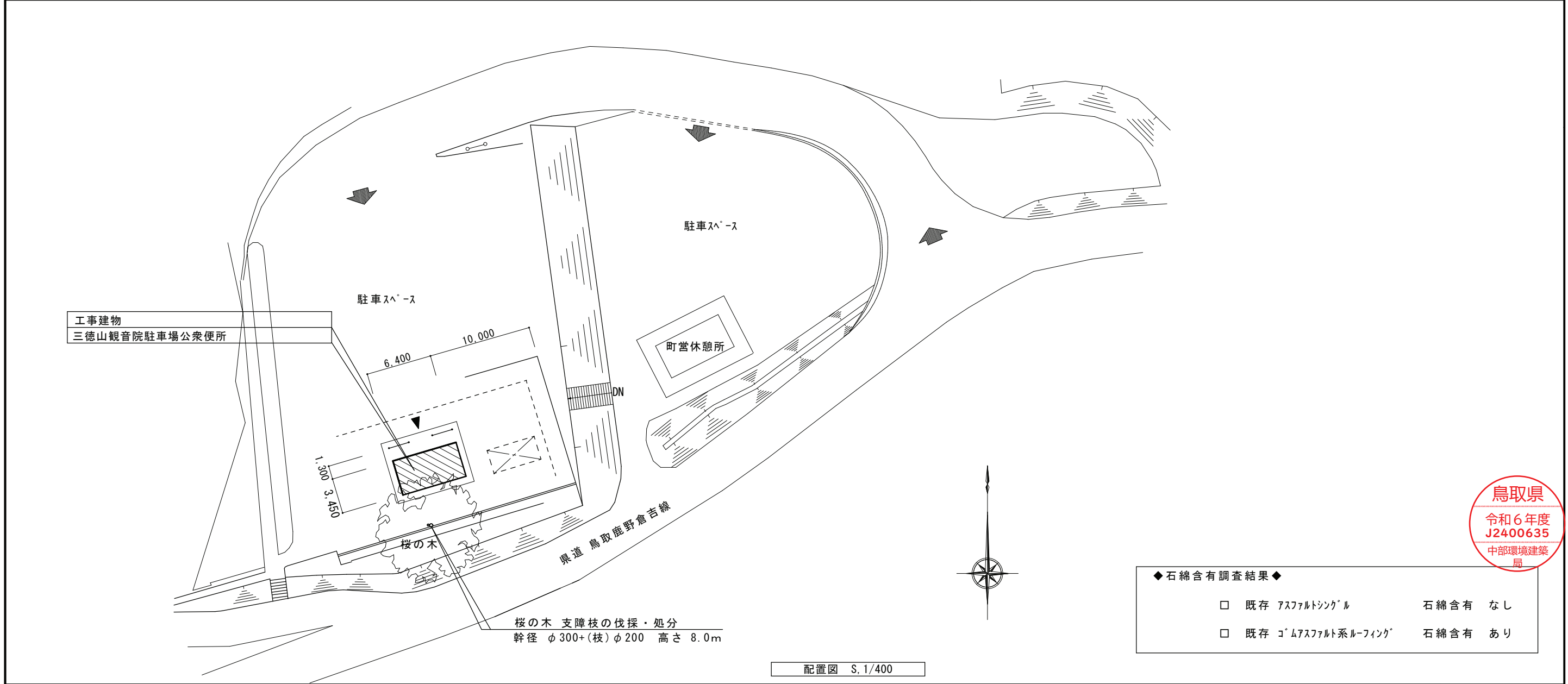
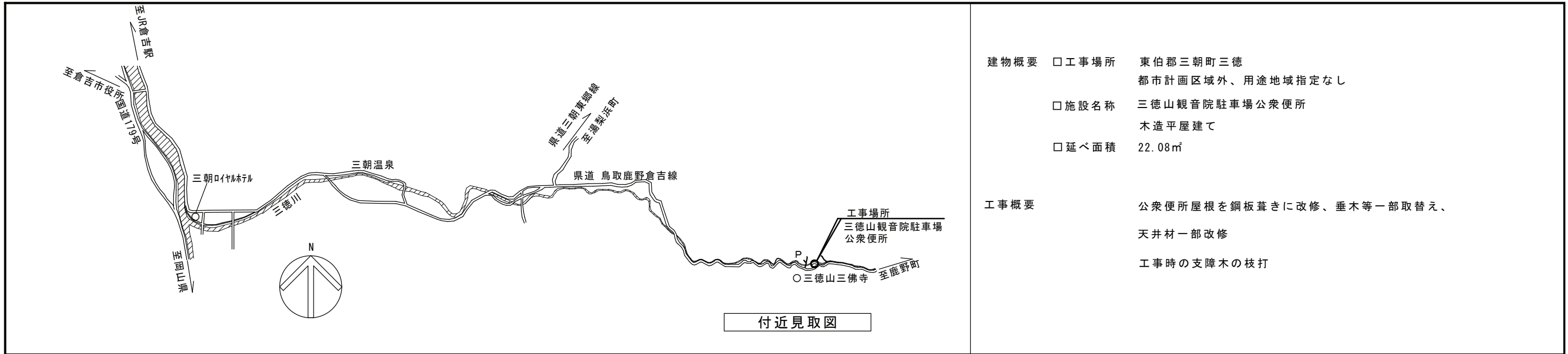
③製図

鳥取県

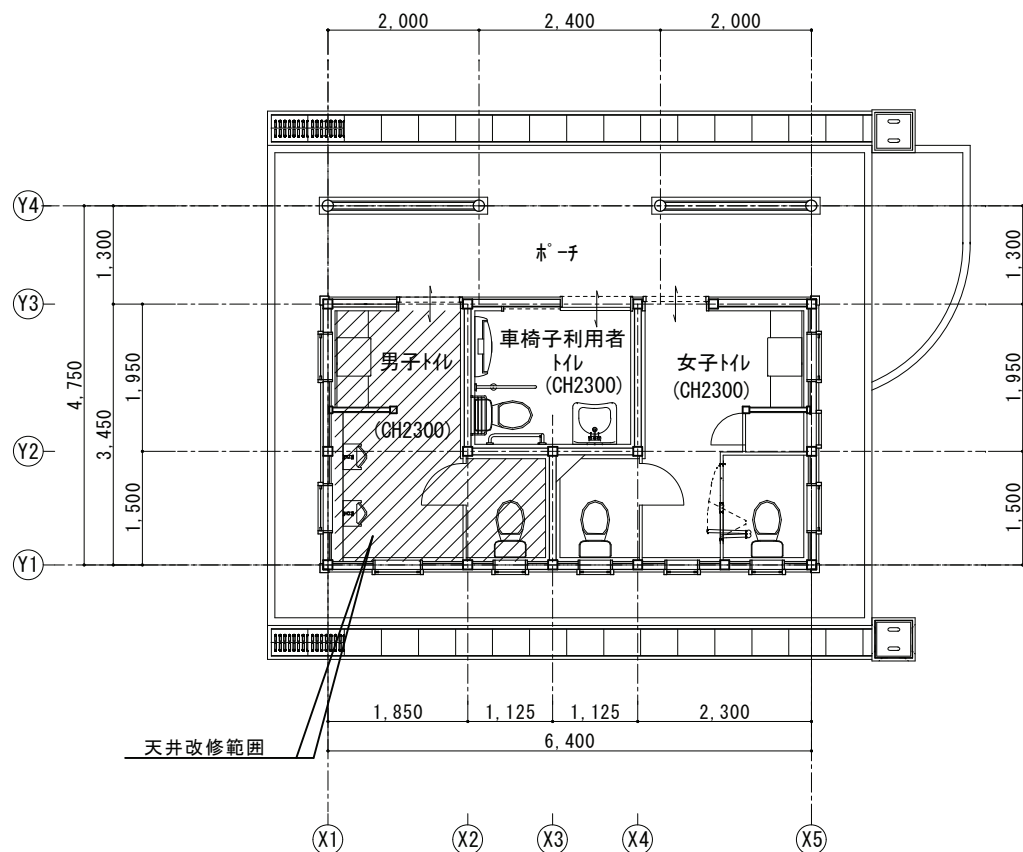
令和 6 年度

J2400635

中部環境建築局



工事名称 三徳山観音院駐車場公衆便所屋根改修工事	図面名称 付近見取図 配置図	SCALE 1/400	NUMBER A-4/9	一般社団法人 鳥取県建築士事務所協会会員 (有) 安達建築設計事務所 鳥取県米子市道笑町2丁目172 adachi-archi.	吉田 成年 TEL(0859)33-7808	一級建築士大臣登録 建築士事務所知事登録	第209688号 第06-225号	検図	設計	製図
	日付 R6.11									



平面図 S. 1/100



改修仕上表

改修部分	既存仕上	既存処置	改修仕上	備考
屋根	アスファルトシングル葺き	全面 撤去・処分	GLカラー鋼板 厚0.4 横葺き	タキ一部補強 60×72@360
	コームアスファルト系ルーフィング 厚1.0	全面 撤去・処分	改質アスファルトルーフィング 940張	
	耐水合板 厚12	一部 撤去・処分	耐水合板 厚12	
軒天	化粧野地板(杉) 厚12張	一部 撤去・処分	(改修部分のみ)	(改修部分のみ)
	化粧タキ(杉) 60×72@360 面取10	既存のまま 軒先カット	化粧野地板(杉) 厚12張 木材保護塗料(WP)塗り	軒先鼻隠し 25×110 木材保護塗料(WP)塗り 破風板 25×135 木材保護塗料(WP)塗り 化粧タキ カット部分 木材保護塗料(WP)塗り
男子トイレ天井	化粧石膏ボード 厚9.5張 (杉柂目プリント)	既存のまま 清掃	粘着剤付マラミシート 厚0.55貼 プライマー共	見切縁 ビーラー生地 20×H10

※ 粘着剤付マラミシート 参考品 マラック(AICA)

工事名称
三徳山観音院駐車場公衆便所屋根改修工事

図面名称
平面図 改修仕上表 屋根伏図
日付 R6.11

SCALE
1/100
NUMBER
A-5/9



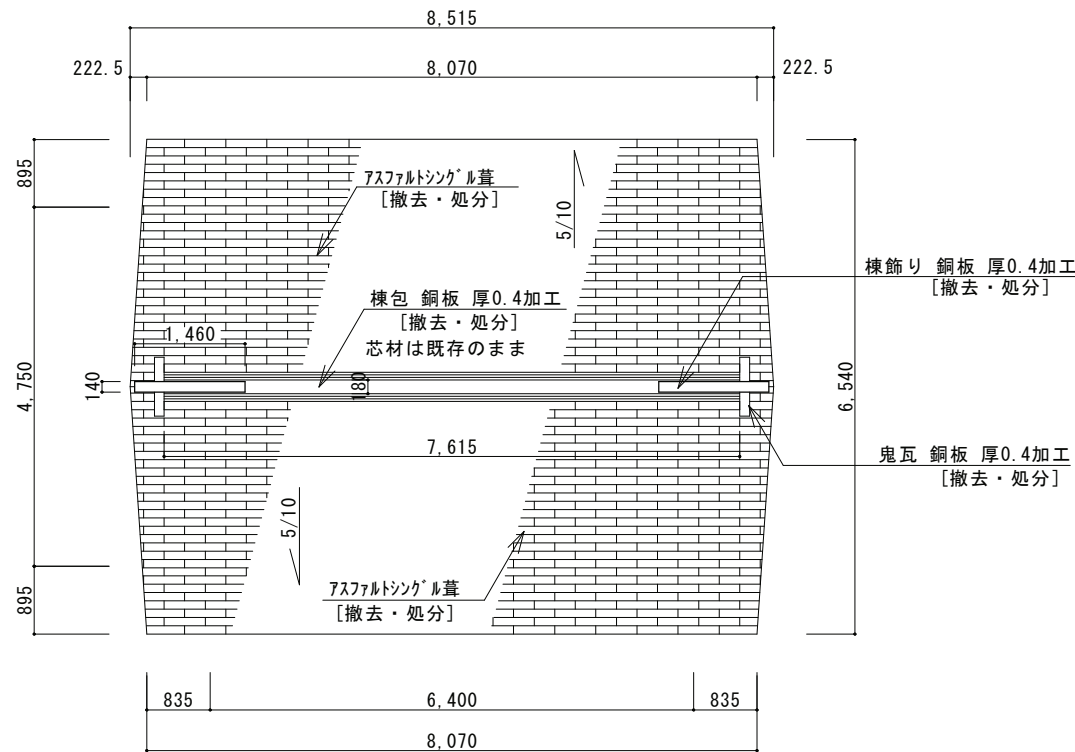
一般社団法人 鳥取県建築士事務所協会会員
(有) 安達建築設計事務所
鳥取県米子市道笑町2丁目172

吉田 成年 一級建築士大臣登録 第209688号
TEL(0859)33-7808 建築士事務所知事登録 第06-225号



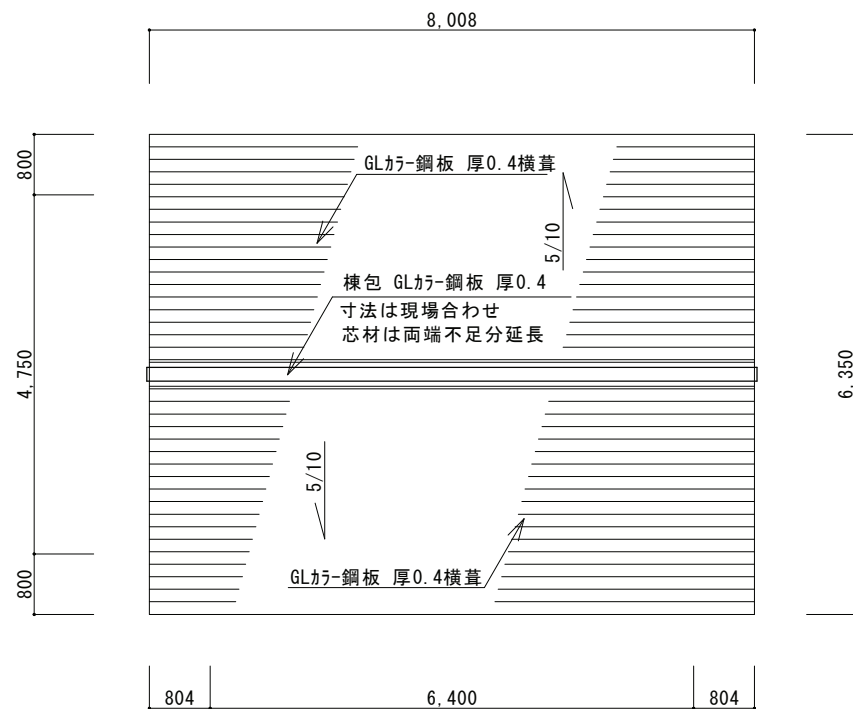
現況

屋根伏図 S. 1/100



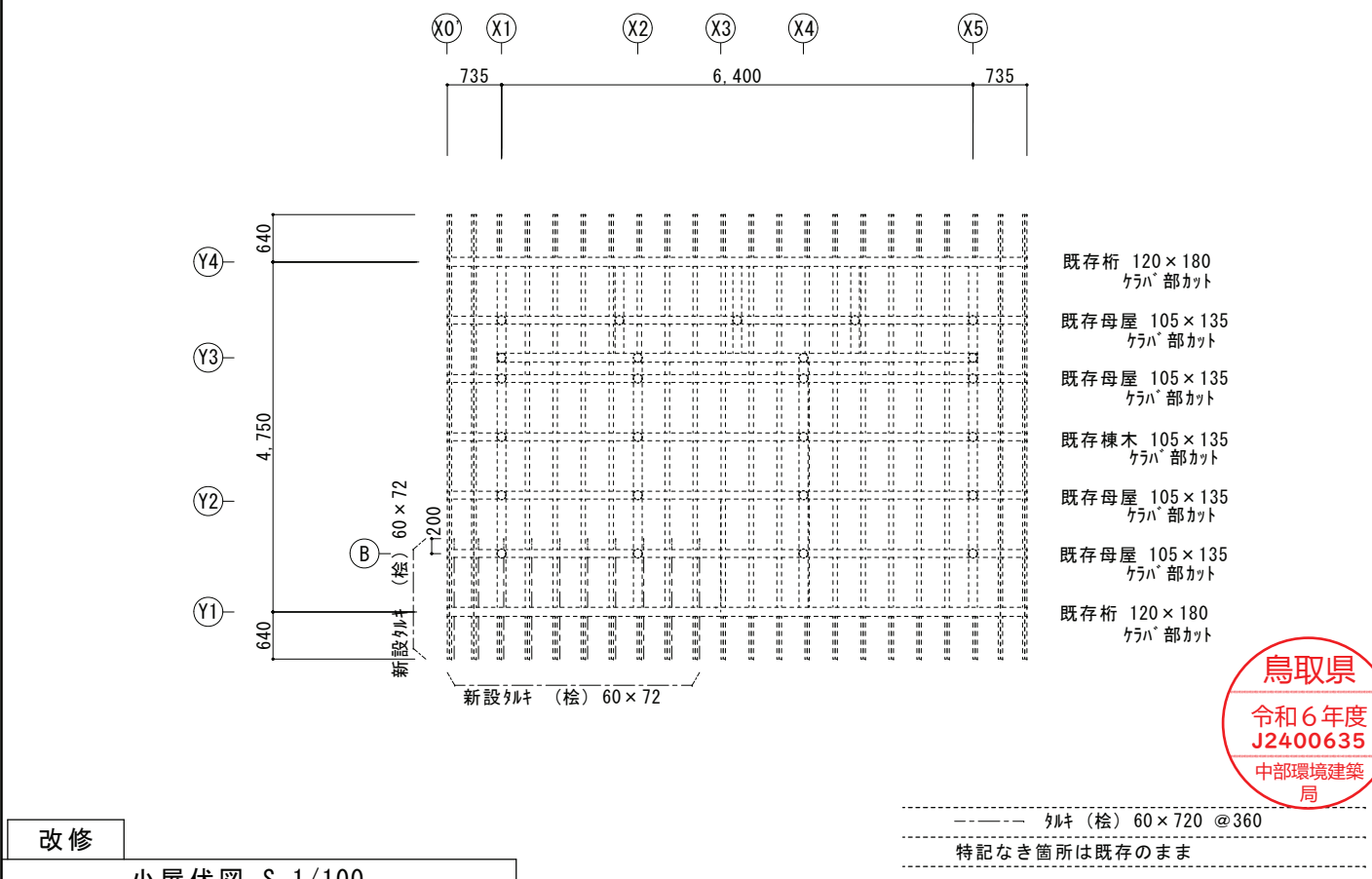
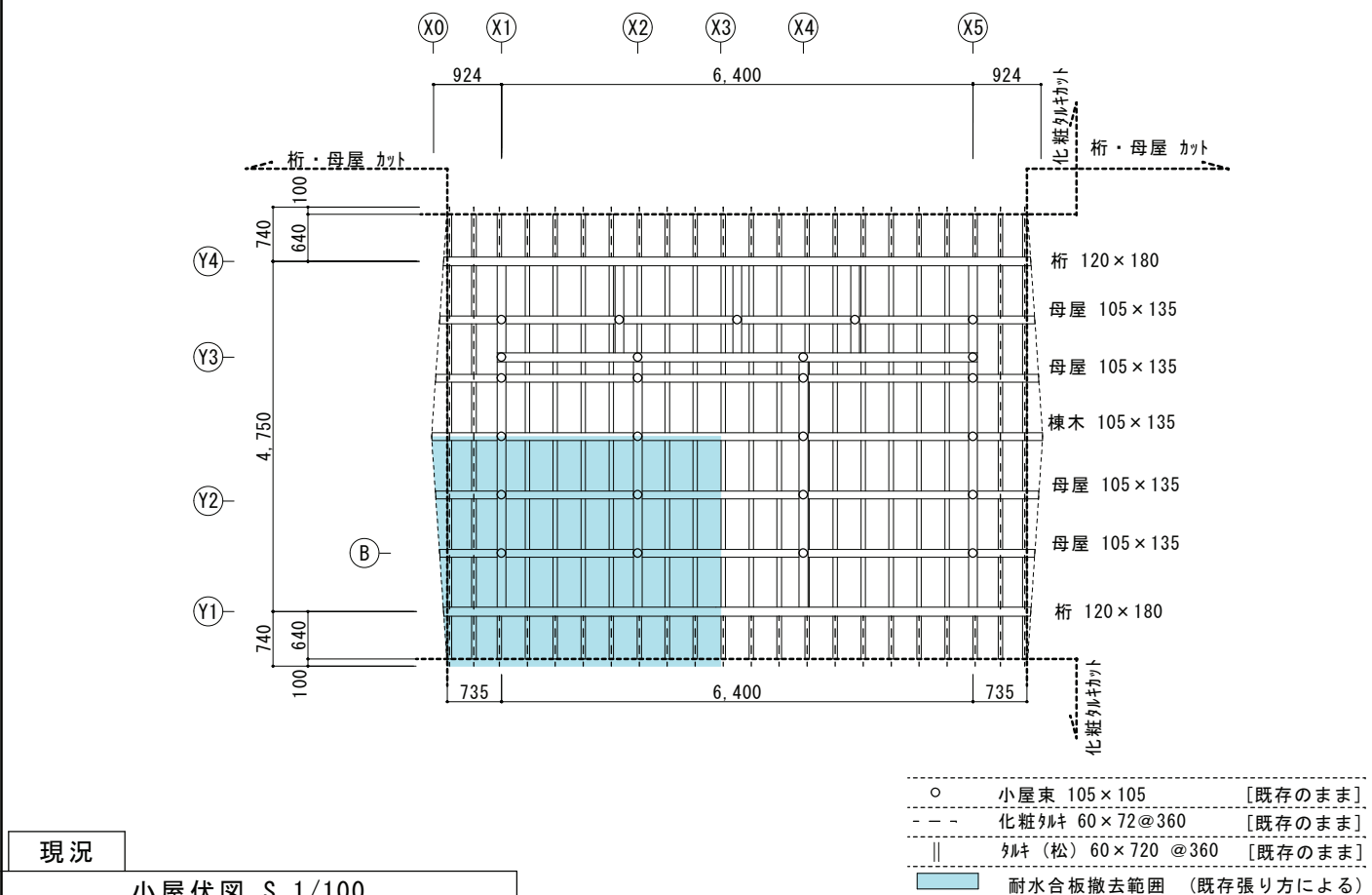
改修





屋根伏図 S. 1/100



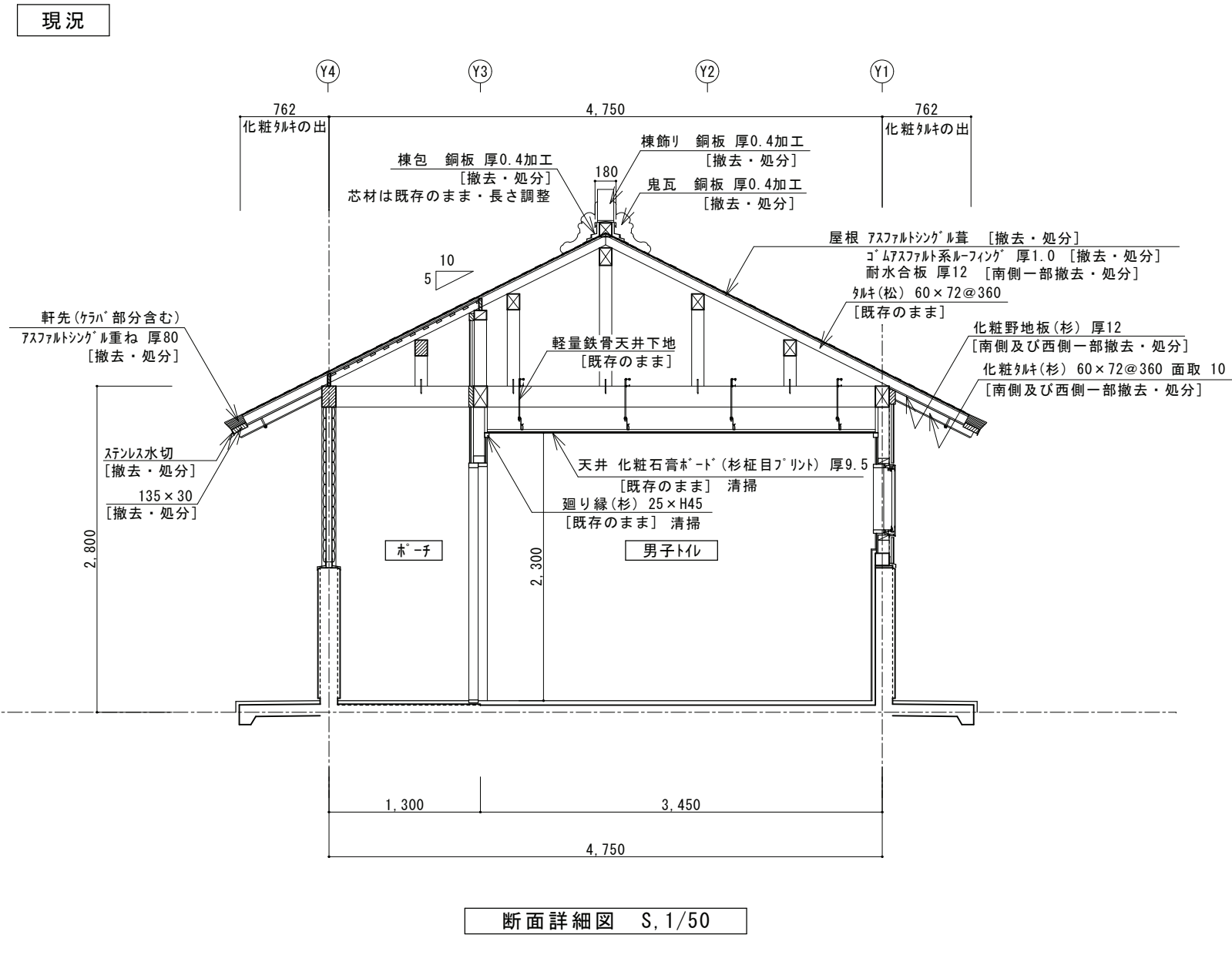
特記なき箇所は既存のまま



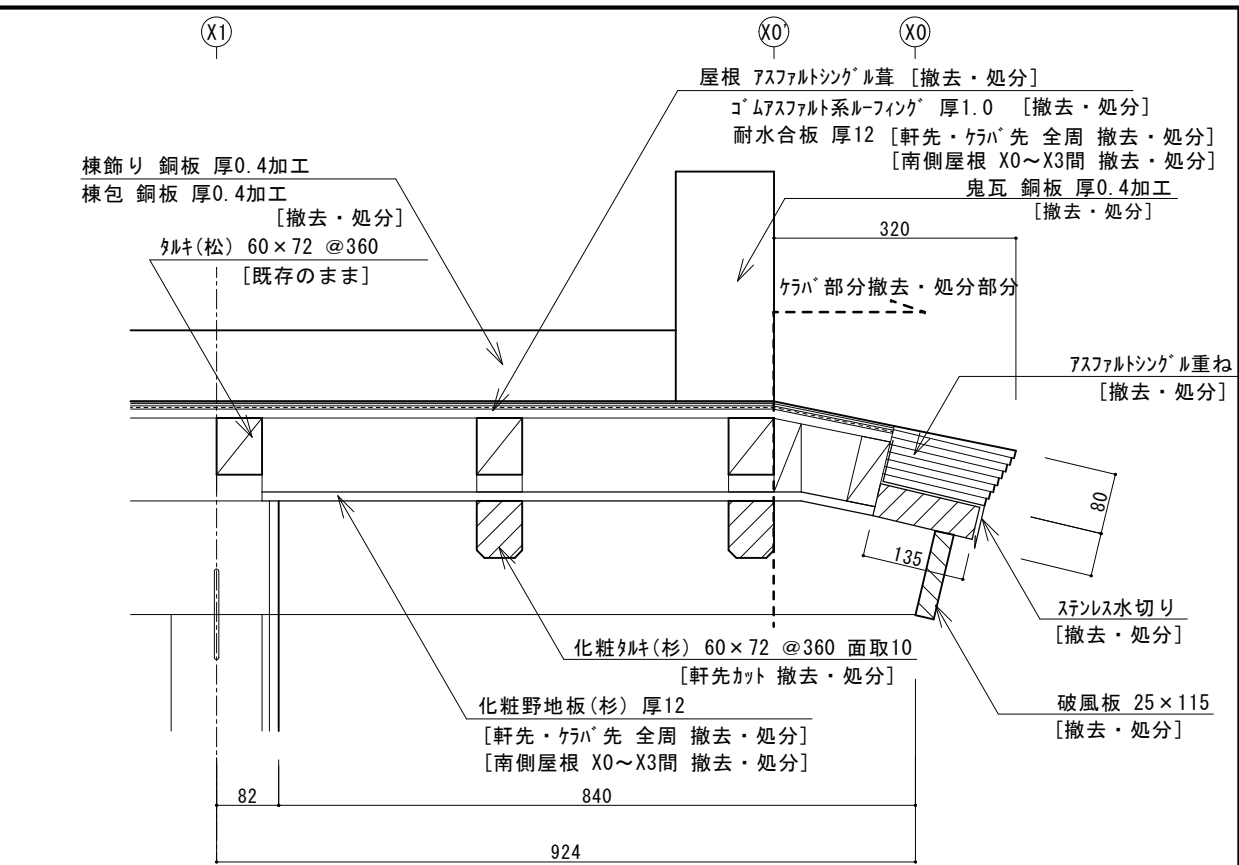


工事名称 三徳山観音院駐車場公衆便所屋根改修工事	図面名称 天井伏図 小屋伏図	SCALE	NUMBER	 一般社団法人 鳥取県建築士事務所協会 会員 (有) 安達建築設計事務所 鳥取県米子市道笑町2丁目17-2 TEL(0859)33-7808	吉田 成年 一級建築士大臣登録 第209688号 建築士事務所知事登録 第06-225号	検図 	設計 	製図 
	日 付 R6.11	1/100	A-7/9					

現況

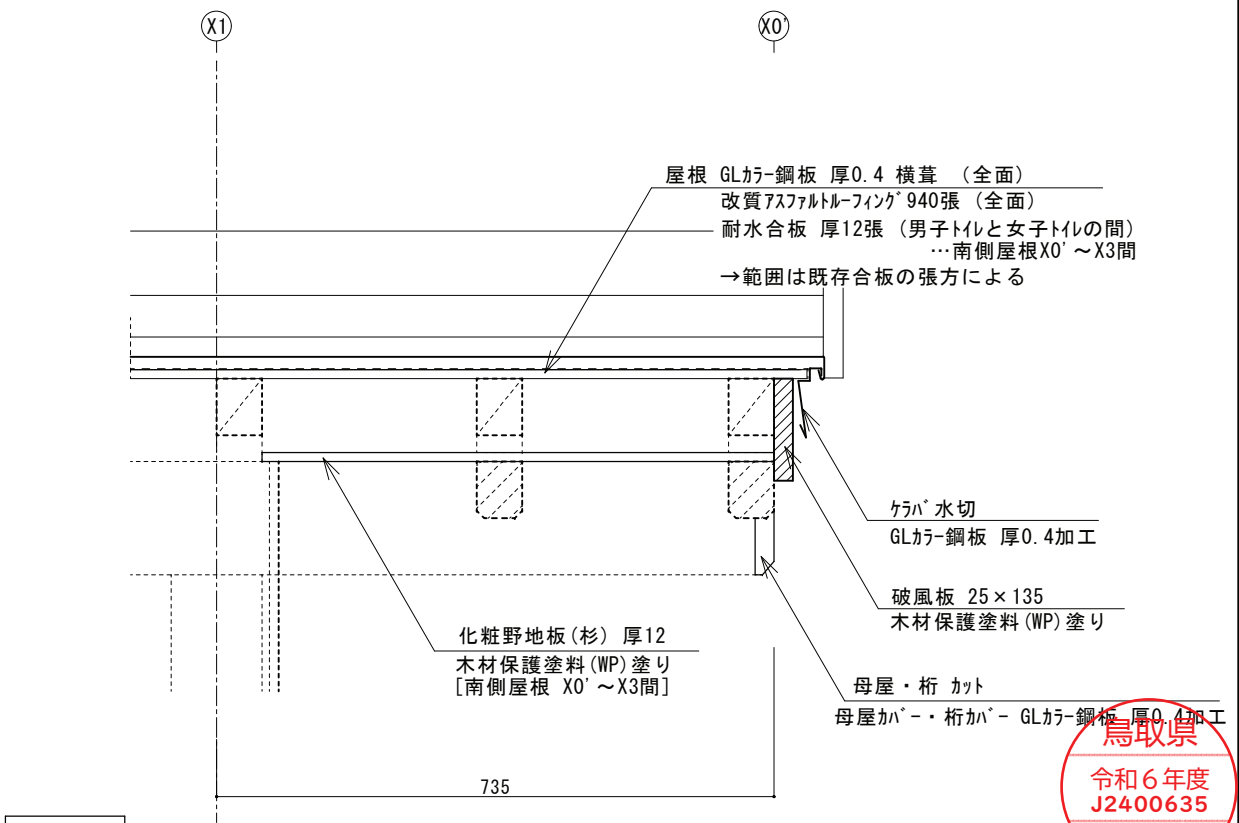


断面詳細図 S, 1/50



現況 [想定図]





部分詳細図 ケラハ納まり(棟部分) S, 1/10

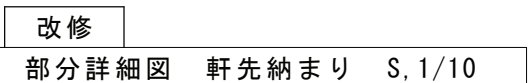
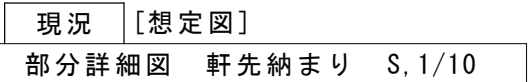


改修

部分詳細図 ケラハ納まり(棟部分) S, 1/10

特記なき箇所は既存のまま

工事名称 三徳山観音院駐車場公衆便所屋根改修工事	図面名称 断面詳細図 部分詳細図(棟部分・ｸﾗﾌﾞ納まり)	SCALE	NUMBER	 一般社団法人 鳥取県建築士事務所協会会員 (有) 安達建築設計事務所 鳥取県米子市道笑町2丁目172 TEL(0859)33-7808	吉田 成年 一級建築士大臣登録 第209688号 建築士事務所知事登録 第06-225号			
	日付 R6.11	1/50 1/10	A-8/9					



鳥取県
令和6年度
J2400635
中部環境建築
局